

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

大学課外活動の選択要因

2010年12月

情報学部広報学科

宮本 京

目次

第一章 研究の概要	
1.1 研究の背景と目的	2
1.2 調査に関連する状況	2
1.3 調査研究の方法	4
1.4 成果の概要	5
第2章 調査研究の成果	
2.1 調査回答者の概要	6
2.2 課外活動の実施状況	7
2.3 経済状況	9
2.4 就職危機感	11
2.5 個人的要因	12
2.6 重要度	14
2.7 参加度	15
2.8 団体への好意意識	16
第3章 まとめと今後の課題	19
参考文献	19
単純集計表	20

第一章 調査研究の概要

1.1 調査研究の目的と背景

大学の課外活動には部活とサークルという二つの団体区分がある。一般的に部活動は大会などに積極的に参加し、サークルは身内で楽しんでいる場合が多い。大学生をその区分で分類すると部活所属者・サークル所属者・無所属者に分けることができる。それらに分かれるのは、個人の趣味や、考えとは違う要因が存在し、働いているのではないかと考えた。

現在、私立大卒の就職率は低く、センター試験でも就職を視野に入れ大学を選ぶ高校生が多いらしい。それは大学内でも同じで少しでも就職に役に立つ生活を選ぶ生徒は多いのではないだろうか。また、親の収入だけでは大学に通えずアルバイトの時間を増やさなくてはいけない学生も多い。経済的な格差により、グループが分かれているのではないか。

1.2 調査に関連する状況

就職意識はもちろん、経済的な問題に注目した。経済的に恵まれている学生はアルバイトをする時間も少なくよく、時間・金銭ともに余裕があるのではないか。事実、新聞奨学生や友人とサークルは無縁のように見え、サークルに所属している人たちは、どこか裕福であるように見える。このことから経済的な差でグループを分けるのではないかと考えた。また、経済的に恵まれないと、就職を意識する割合が高く、就職活動で評価される部活動を選ぶのではないか。「経済問題」と「就職活動意識」。就職活動に積極的であるのは経済的に恵まれない人の方が就職に有利になる団体を選ぶのではないか。ほかには個人的な問題として「なりたい職業に向けた準備」「人間関係重視度」「参加度」などを調査した。

『現代大学生論』によると、やりたいこと・将来の目標によって選ぶコミュニティが変わってくるといふ。将来の目標があり、それに向かって行動をしている人は、おのずと未来に役立つ集団を選ぶ。実績のある部活や、体育系の部活は体力があることをアピールでき、地域ボランティアを中心にしているサークルも就職での評価が上がる対象になる可能性がある。なりたい職業がある人たちは、就職を視野に入れて所属団体を選択するはずだ。

逆に、団体を選ぶときに就職を意識しない人や、高校では部活をがんばったからそれ以外の体験をしたい、と考える学生もいる。その人たちは経済問題や、就職の危機感などの社会的要因でなく、個人的な要因で分けられると考えた。

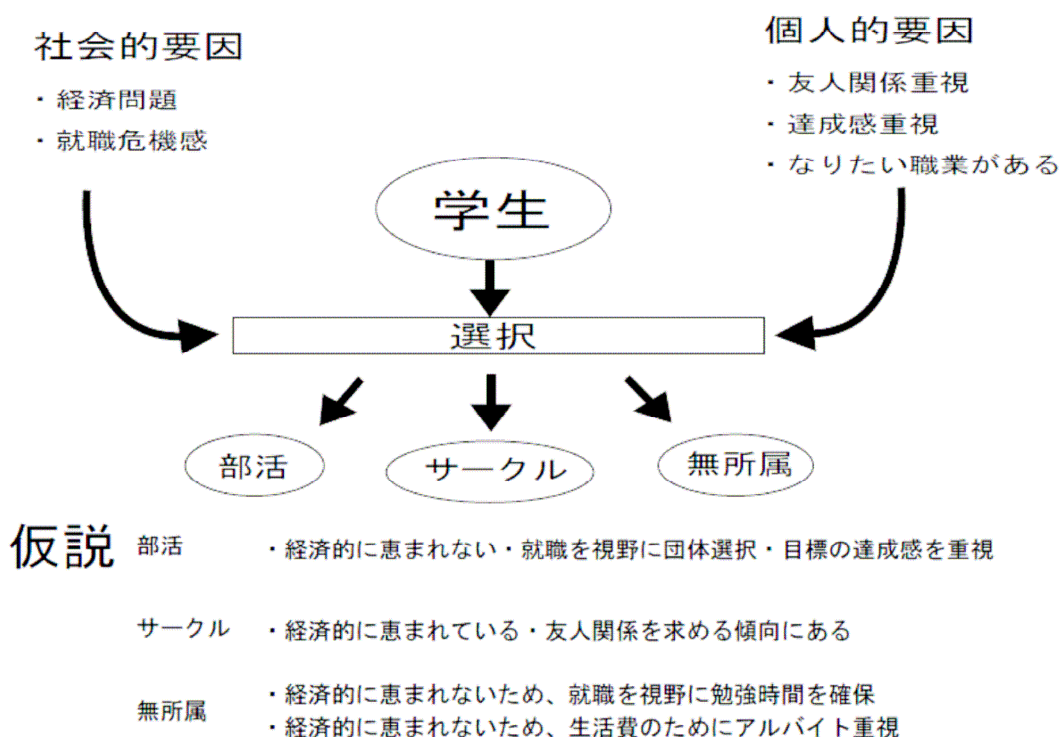
個人的な要因の中で最も大きな割合を占めるのは「人間関係」だと思う。人間関係を重視してサークルに入るといふ友人を何人も見たからだ。サークルに所属している友人たちに話を聞くと、遊ぶ仲間がほしかったから、という意見が大半をしめた。

個人的な要因はサークル・無所属だけに働くものではない。部活に所属している人は個人的に何を求めて団体を選ぶのか、これも友人に話を聞いた。高校の延長や、大学四年間でなにかをやり遂げたいという意見ももらった。ここから部活に所属するグループは友人関

係よりも「目的達成」を求めているように思う。

1970年からの貧困研究から、近年、新たな動きが起こっている。その発端が「格差社会」である。『格差社会への視座』によると、経済と社会の変動により、社会政策における貧困の再定義が必要となった。この論議は急速に盛り上がり、雇用、労働をはじめ、少子高齢化、子育て、教育、そして社会保障全般にまで及び、国民的課題として取り上げられ、現在なお衰えていない。

この問題が大学生の生活に関係しないだろうか、と考えた。私立大学に通う学生とは、比較的裕福な家庭で育っているだろう。だがそれでも、奨学金をかり、アルバイトをして学費を払う学生もたくさんいる。大学生の経済状況がサークルや部活を選択するときの背景にあるのではないか。このことから経済的に裕福な学生はサークルに所属し、裕福でない学生は所属をしない、または就職を目標に部活に所属すると仮説を立てた。



1.3 調査研究の方法

(1) 新抄経緯

- ・ 4～7月 研究テーマ検討、決定
- ・ 8～10月 調査表作成
- ・ 11月 調査票配布、回収、報告、単純集計報告^{¥¥}
- ・ 12月 研究結果提出

(2) 調査の概要

a. 調査の意図・仮説

- ・ 経済的な問題でグループが分かれる。裕福なグループはサークルに所属する。
- ・ 就職危機感が高いと部活または無所属に所属する。
- ・ 人間関係を重視する人はサークルに、目的達成を重視する人は部活に所属する。
- ・ 就職意識に加え、勉強意識も高いと無所属を選択する。
- ・ その他団体を分ける原因を探る。

b. 調査対象者と方法

- ・ 調査対象者：文教大学生
- ・ 調査方法：紙面によるアンケート

c. 主な質問項目

- ・ 団体所属（部活・サークル・無所属。さらに文化系・体育系・飲みサークル）
- ・ 活動重視（友人・練習・技術向上・結果・就職活動）
- ・ 優越感（自分の団体が優れているか・もう一度同じ団体に入りたいか）
- ・ 経済（毎月の小遣い・バイトの有無・収入の使い道・奨学金）
- ・ 夢を持って、それに向かった行動をしているか

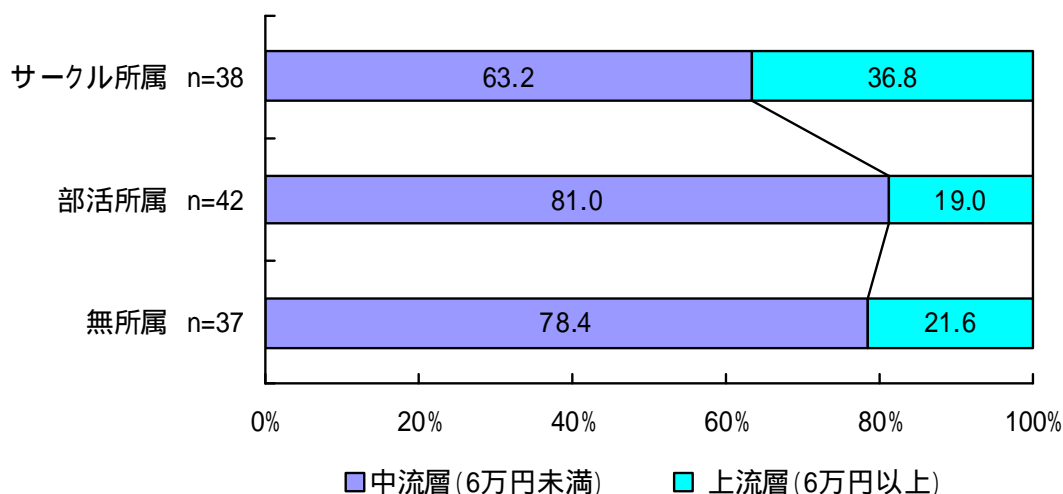
d. 依頼数と回答数

- ・ 依頼数 117 枚
(メディアリテラシー：45枚・製作管理手法：35枚・情報学特殊講義B：37枚)
- ・ 回収数 117 枚
(メディアリテラシー：45枚・製作管理手法：35枚・情報学特殊講義B：37枚)
- ・ 有効回収数 117 枚

1.4 成果の概要

(1) 主な成果

図1-4-1 毎月の小遣い



学生が毎月自由に使えるお金を「お小遣いはいくらか」という質問で聞いた。その中で小遣いが6万円以下の学生を中流層、6万円以上の学生を上流層と定義した。結果を図1-4-1に示す。

小遣いというとは送りや奨学金も含まれるが、意味は娯楽費に近く、生活費以外に使える金額が月にどのくらいあるかということだ。要するに自由な金額がどのくらいあるかという図である。グラフの%の比率と選択肢の中間値から平均を求めると、サークルが4.77万円、部活が3,95万円、無所属が4,02万円の小遣いがあることが分かる。後の調査でわかったのだが、無所属は、サークルと同じくらいの日数のバイトをしている。だが、サークルほど稼いだお金を自由に使っていない。アルバイトの割合が変わらないのに、娯楽費の値段に差が出たことからサークルがもっとも裕福であるという傾向がわかる。つまり、学生生活をする上で、最も金銭的に恵まれているのはサークルであるということがわかる。

(2) その他の成果

- ・就職危機感は全体的に高いが、活動を積極的に行う学生は少ない。
- ・サークルだけでなく、部活も友人関係を重視する。
- ・結果や目標達成を重視する人は一週間あたりの参加度が高い。
- ・部活は就職評価を重要視している。

第2章 調査研究の成果

2.1 調査回答者の概要

調査対象者は文教大学湘南校舎の学生 117 名で、「メディアリテラシー」「制作管理手法」「情報学特殊講義 B」の 3 クラスで紙面によるアンケートを行った。

なお回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りが生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表 2 - 1 - 1 と表 2 - 1 - 2 で確認しておく。表 2 - 1 - 1 の学年別の分布では、1 年と 3 年が全体に比べ多く、2 年と 4 年が少なくなっている。また表 2 - 1 - 2 の性別の分布では、男女の比率が逆になっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表 2 - 1 - 1 回答者と母集団の比較

	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	計
回答者	36.8 (43)	11.3 (13)	36.8 (43)	13.7 (16)	1.7 (2)	100.0 (117)
湘南キャンパス学生	27.4 (963)	26.2 (919)	22.4 (786)	24.1 (845)		100.0 (3513)

(注) 母集団は湘南キャンパス 2010.9 末時点である。

表 2 - 1 - 2 回答者と母集団の比較

	男子	女子	無回答	計
回答者	43.6 (51)	54.7 (64)	1.7 (2)	100.0 (117)
湘南キャンパス学生	51.6 (1814)	48.4 (1699)		100.0 (3513)

(注) 母集団は湘南キャンパス 2010.9 末時点である。

2.2 課外活動の実施状況

調査から得られたサークルと部活への所属状況を図2-2-1に示す。部活のみに参加しているのは29人、サークルのみに所属しているのは37人である。なお部活とサークルの両方に所属している回答者は部活所属者として扱う。理由は部活動への参加する割合がサークルよりも多く、また全体的に部活動のほうが活動も積極的であるということから、部活動として扱う。

図2-2-1 部活・サークル所属状況

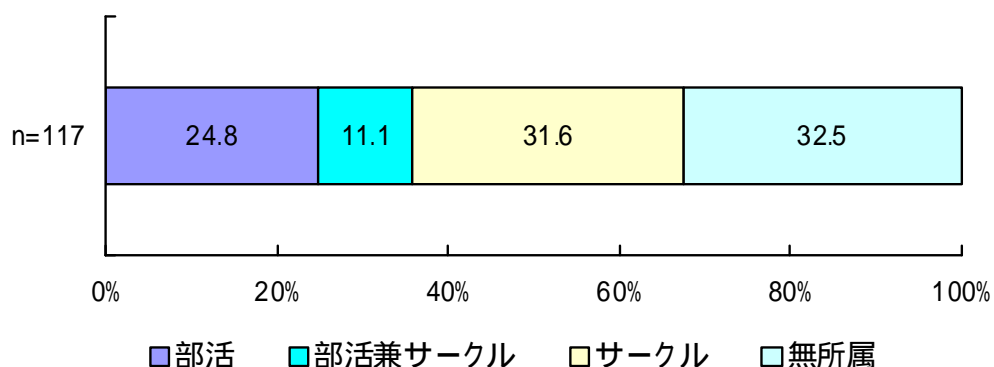


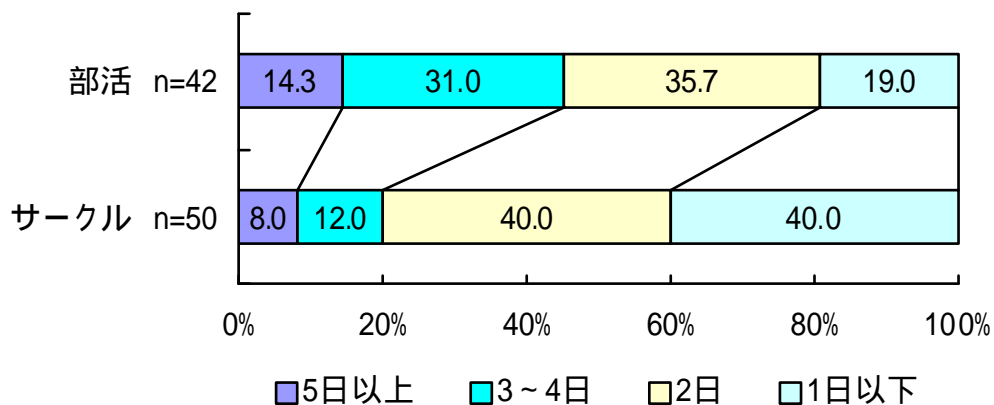
表2-2-1では、サークルと部活をさらに体育会系団体と文科系団体に分ける。体育系団体とは運動を行う団体である。文科系団体とはそれ以外の吹奏楽部や茶道部、イベントサークルなどを指す。部活もサークルも文科系の方が多結果になった。また、飲み系サークルとは、飲み会が活動のメインになっているサークルを指す。

表 2-2-1 体育系・文科系所属状況

	体育系団体	文化系団体	飲み系サークル	計
部活所属	21.4 (9)	78.6 (33)	0 (0)	100.0 (42)
サークル所属	32.0 (16)	52.0 (26)	16.0(8)	100.0 (50)

サークルと部活の一週間あたりの参加日数を比較した。ここでは参加度と明記する。

図2 - 2 - 3 部活・サークル参加度



部活参加者の方が活動に積極的に参加していることがわかる。3日以上がサークルは約20%なのに対し、部活は約45%と大きく離れている。選択肢に中間値を作って参加日数の平均を求めると、部活は週に平均2.7日参加し、サークルは2.0日参加している。このことから部活動所属者のほう積極的に参加していることが分かる。

部活とサークルの両方に所属している生徒は、部活の参加度の方がサークルよりも高いので部活動所属者として扱うことにする。部活動はサークルよりも活動内容が明確であるため、結果として学生生活に占める部活動の割合が多くなるはずだ。このことから、部活、サークルの両方に所属している学生を部活動所属者として扱うことにした。

2.3 経済状況

図2-3-1 アルバイトの有無

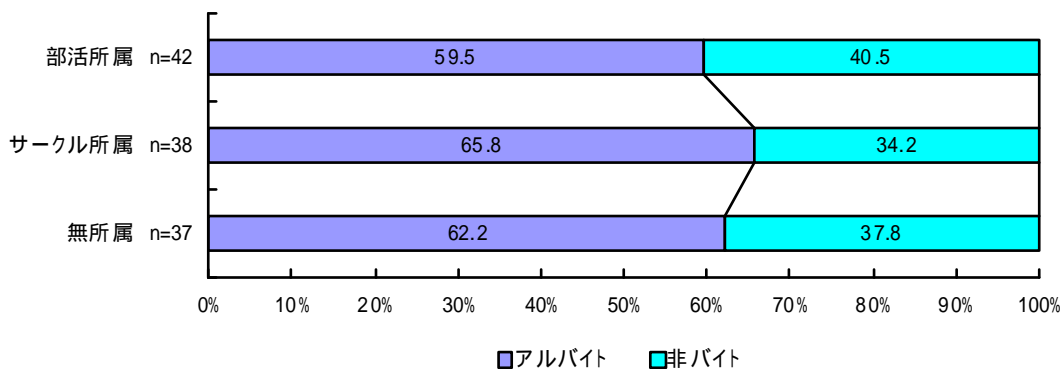


図2-3-2 アルバイトでの収入の使い道

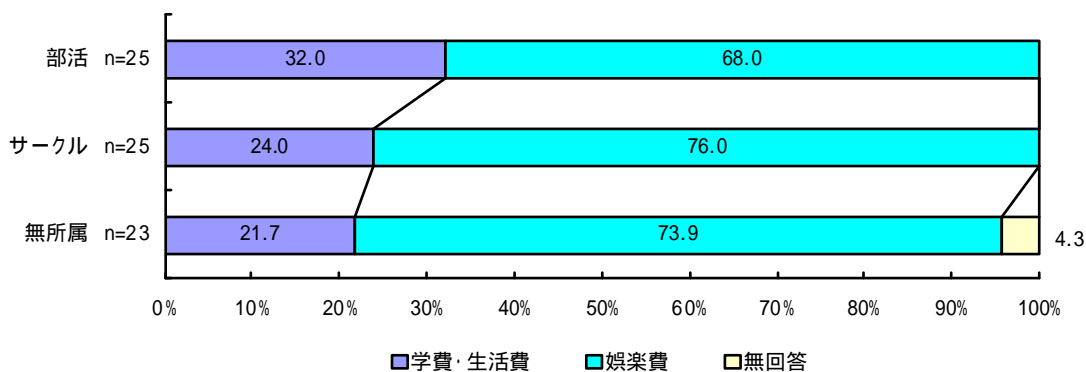
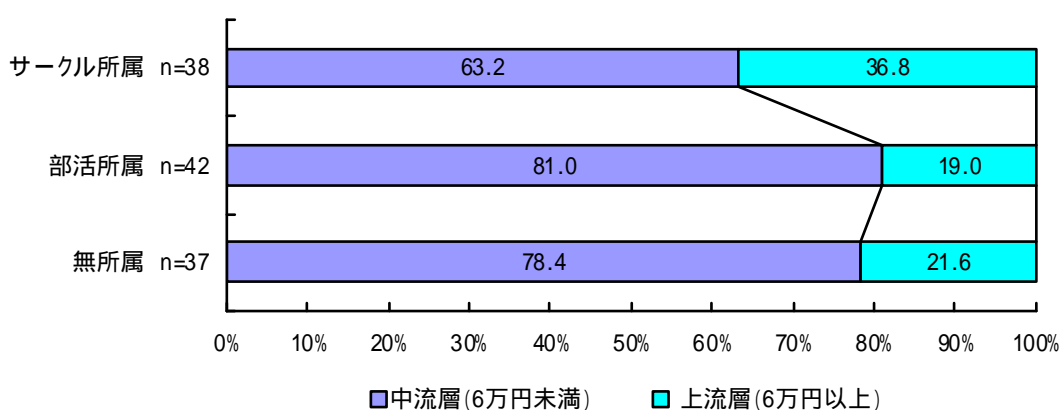


図2-3-3 毎月の小遣い

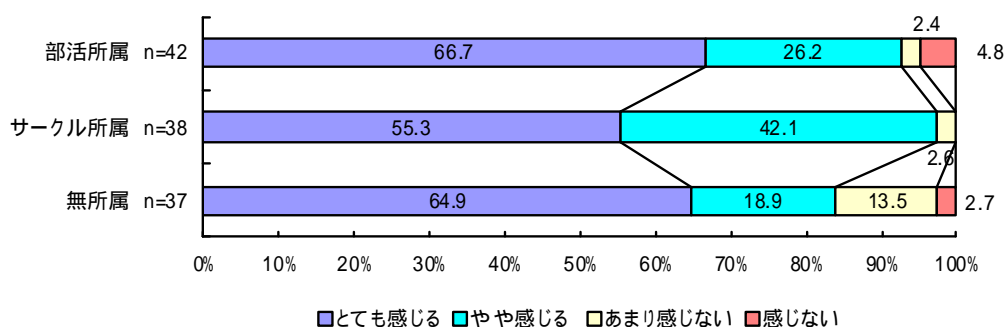


アルバイトと収入の使い方、金額を調査した。図2-3-1は団体ごとのアルバイトの有無、図2-3-2はその収入の使い方、図2-3-3は毎月の自由に使える金額の差を示す。

学生のアルバイト比率はグループで変わらず約6割の学生がアルバイトを行う。収入の使い方を娯楽費としたのは部活と無所属が約75%と共に高かったが、小遣いではサークルがもっとも裕福である。グラフの%の比率と選択肢の中間値から平均を求めると、サークルが4.77万円、部活が3.95万円、無所属が4.02万円の小遣いがあることが分かる。無所属は、サークルと同じくらいバイトをしているが、サークルほど稼いだお金を自由に使っていない。アルバイトの割合が変わらないのに、娯楽費の値段に差が出たことからサークルがもっとも裕福であるという傾向が見える。

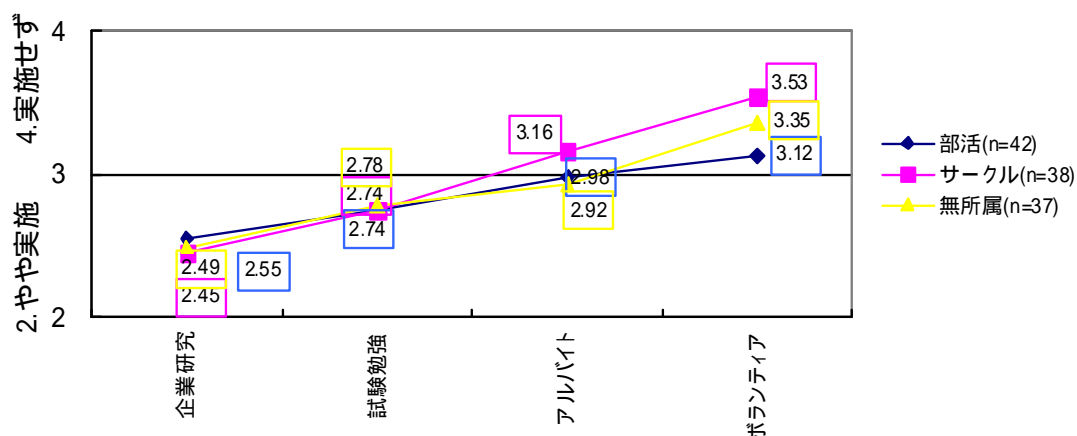
2.4 就職危機感

図2-4-1 就職への危機感



就職への危機感の回答をグループごとに集計した結果を図2-4-1に示す。「とても感じる」「やや感じる」を含めると全体的に危機感が高い。「とても感じる」「やや感じる」を合わせると部活が約92%、サークルは約97%、無所属が約85%である。学生同士の接点が多い部活やサークルに所属すると就職の話をして危機感が高まることが予想した。無所属はその機会がないため、低いのではないかと。

図2-4-2 就職活動実施状況



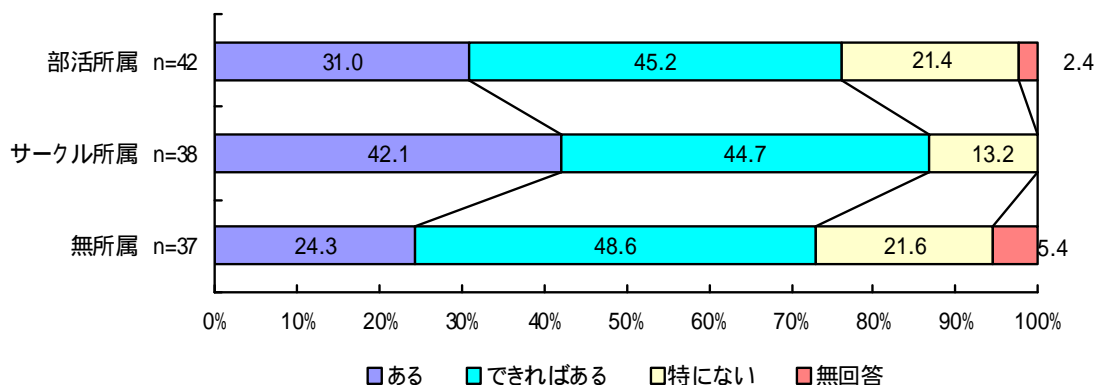
就職に向けた活動状況について「1. かなり実施」から「4. 実施しない」までの4段階で聞いている。そこで各グループ別にこの選択肢番号の平均値を求めて、グループごとの活動状況を比較してみた。結果を図2-4-2に示す。よく実施する順に左から右に配列されている。

どのグループも同じ傾向にある。ボランティアでの差が最も大きい、グラフの上の方にあることから分かる通り実地している学生はあまり多くない。就職危機感からボランティアをしているとしても団体ごとの違いであるとは考えにくい。どのグループも決定的な行動はなく、就職危機感への対応の活動がグループを分ける原因にはなりそうにない。

2.5 個人的要因

(1) 将来の夢に対する行動

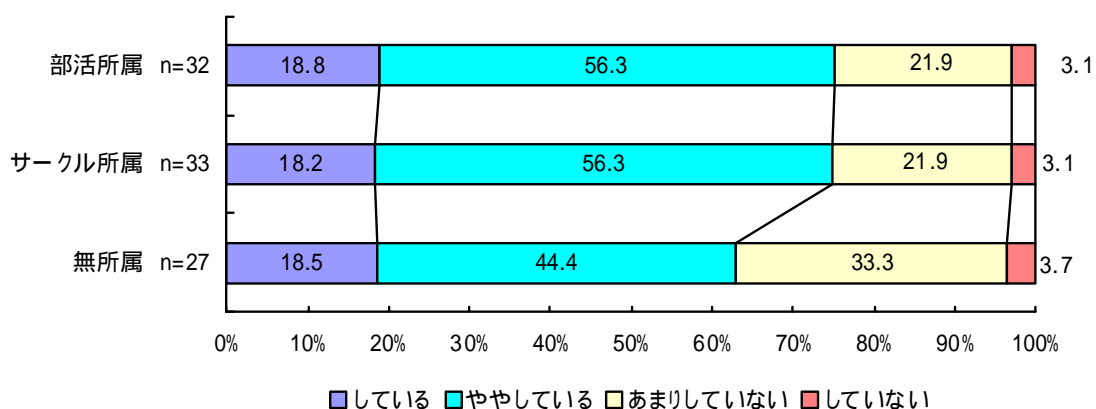
図2-5-1 なりたい職業



将来なりたい職業があるかを「ある」「できればある」「特にない」の3段階で聞いた。結果を図2-5-1に示す。

サークル4割、部活3割、無所属2割の順でなりたい職業が「ある」ことがわかる。サークル所属者がもっとも「特にない」と答えた割合が少なく、何をしたいか大学で探す人はサークルに入らない度合いが大きい。

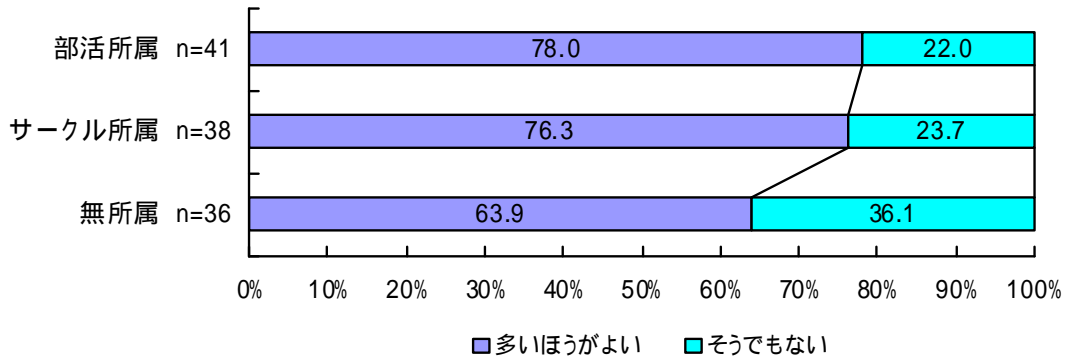
図2-5-2 なりたい職業に向けた準備



なりたい職業に向けた準備をしているかを調査した。結果を図2-5-2に示す。なりたい職業ではサークル・部活・無所属の順で多いという違いが出たが、なりたい職業に向けての準備では大きな差が出なかった。将来の職業に対する行動は人それぞれで、この意識が高いからといってグループ選択に及ぼす影響は少ないことがわかった。また、無所属はしてない割合が多く、就職の準備のために無所属を選択する傾向は少ないと予想できる。

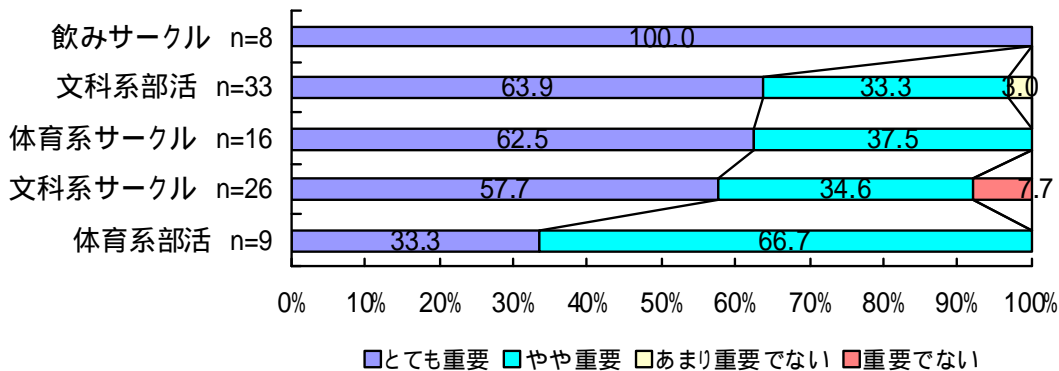
(2) 人間関係重視度

図 2 - 5 - 3 友人数願望



友人を多く求めるかを調査し、図 2 - 5 - 3 に示す。友人は多いほうがいいのかという質問に、無所属グループは約 60% が思うと答え、サークル、部活は共に 80% ほど思うと答えた。無所属は友人が少なくてもいいと考える傾向がある。人間関係を重視する事と、友人の多さを求めることは決して同義ではないが、無所属は多くの友人を望んでいない。サークルと部活での差はなく、同じように多くの友人を望んでいる。このことから友人を多く望むか否かが団体所属と無所属をわける要因のひとつであることがわかった。

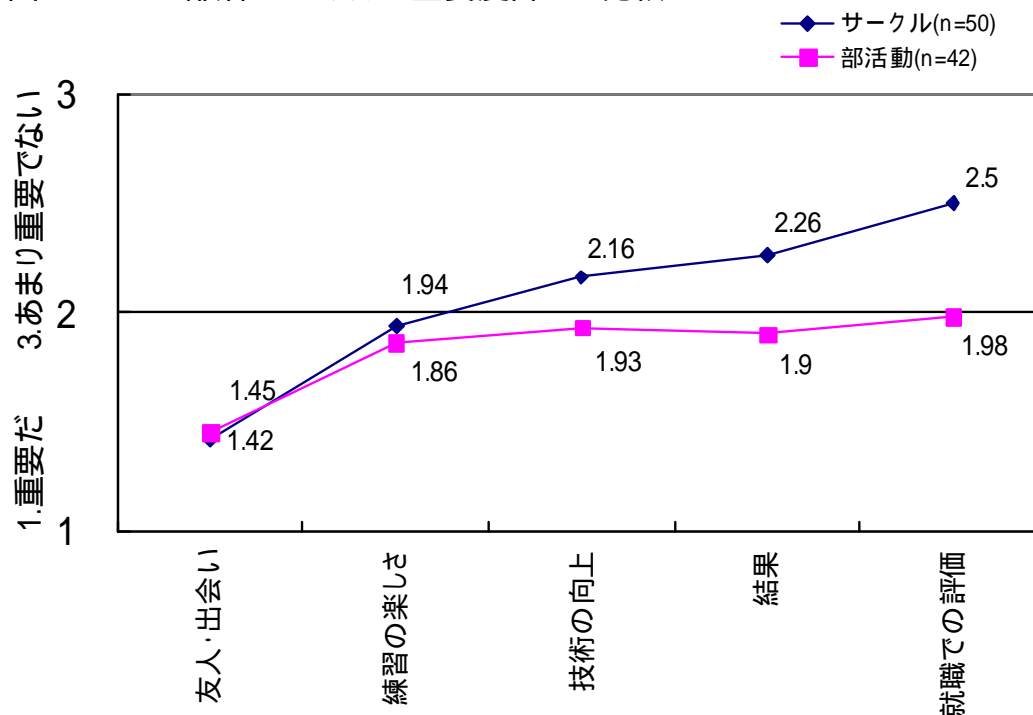
図 2 - 5 - 4 団体別友人重視度



団体所属ごとに友人関係をどの程度重視するかを調査し、結果を図 2 - 5 - 4 に示す。飲みサークルが友人関係を全員が重視しているという結果になった。他には体育系よりも文化系のほうが重視している傾向があり、部活よりもサークルが重視している傾向も見える。また、体育系の部活がとても重要を 30% とし、少ない。体育系部活は友人関係よりも活動や結果などほかに重視しているものがあることがわかる。

2.6 重要度

図2-6-1 部活・サークルの重要度合いの比較



部活やサークル活動において、「友人・出会い」、「活動の楽しさ」、「技術向上」、大会やコンクールなどの「結果」、「就職での評価」をどの程度重要視しているかを調査した。なお、活動での重要視度を「1.かなり重要」から「4.重要でない」までの4段階で聞き、選択肢番号から各グループの平均値を求めて比較している。数字が小さいほうが重要だと思う項目である。

サークル、部活ともに友人・出会いは共に重要だと思う傾向がある。サークルと部活の差が大きく出るのは、結果と就職評価だ。部活で得た結果は就職でも役に立つと考えられる。また、サークルでは結果を残す大会などの機会が部活に比べ少ない。就職のために役に立つ結果を求めるか否かが部活とサークルを分ける要因のひとつである。

2.7 参加度

図2-7-1 サークル参加度と就職評価重視度

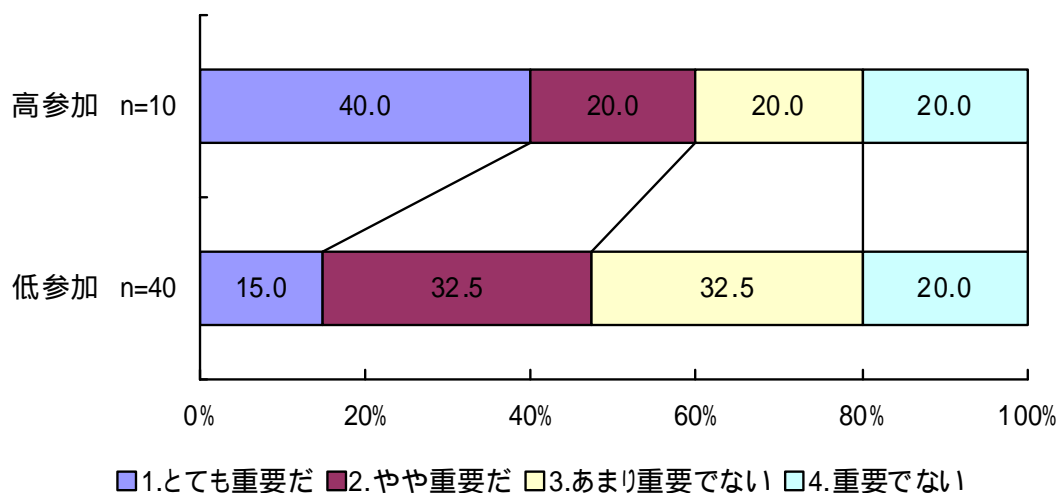
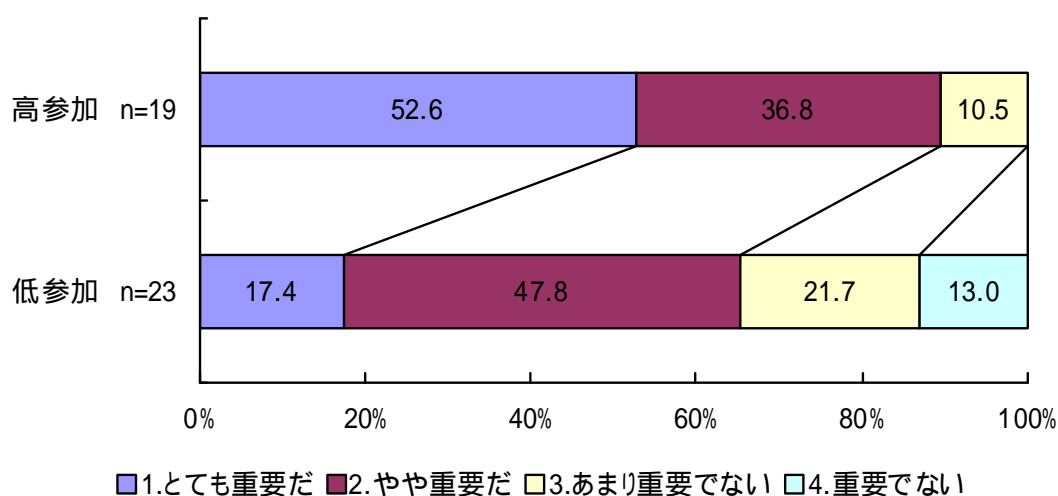


図2-7-2 部活参加度と就職評価重視度

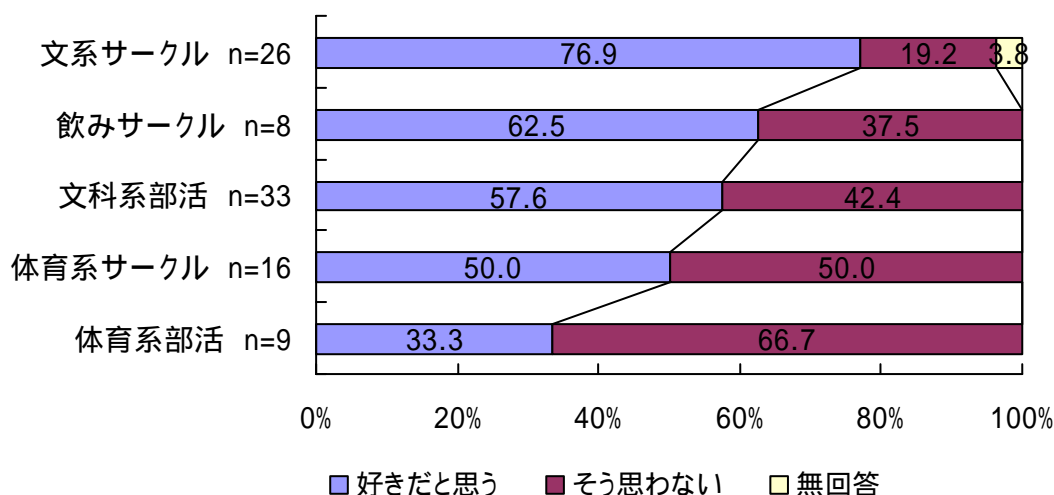


週にどの程度参加するか、また参加を分ける要因を調査した。週に3日以上参加している人を高参加グループ、それ以下を低参加グループとする。重要度で参加度がどの程度変わるかに注目した。結果を図2-7-1と図2-7-2に示す。

サークルの参加度は就職評価では大きな差がでない。「やや重要」を含めると高参加が約60%、低参加が50%である。だが、部活の参加度は就職評価の重要度で大きな差が出る。「やや重要」を含めた高参加が約90%、低参加が約65%だ。就職評価に対する重要度は、部活動の参加度を上げる大きな要因である。

2.8 団体への好意率

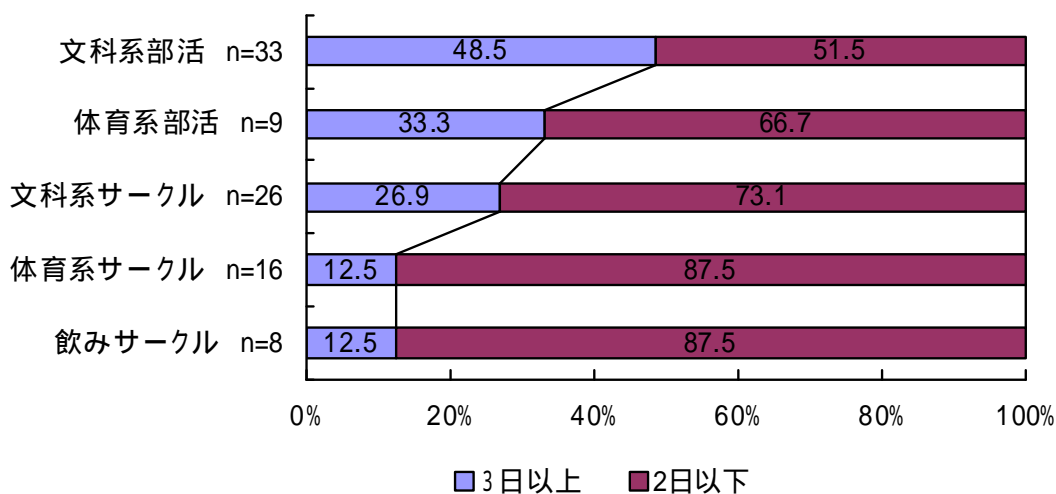
図2-8-1 所属団体への好意度



自分の団体をどの程度好きかを聞いた。結果を図2-8-1に示す。

好きだと答えた順に文系サークル約75%、飲みサークル・文科系部活約60%、体育系サークル約50%、体育系部活約30%となった。ここでも部活よりはサークルが、体育系よりは文系が、自分たちの団体に好意を持っていた。

図2-8-2 所属団体別の一週間の参加日数



団体所属者の一週間の参加日数を図2-7-2に示す。サークルより部活が参加日数で上回るのは、活動が活発であるためと予想される。文系より体育系が少ないのは、活動場所が限られているためだと予想した。

a.参加日数との比較

図2 - 8 - 3 参加日数と優秀性の比較(サークル)

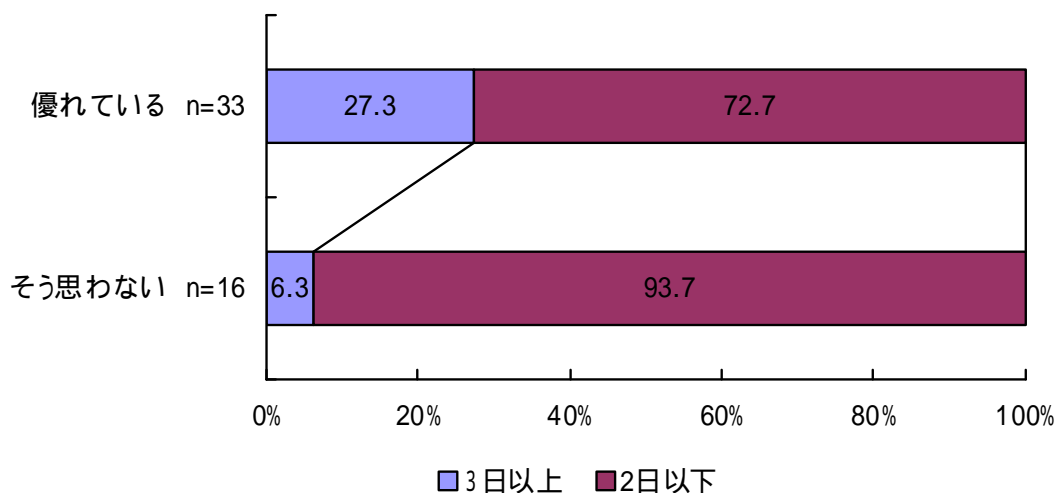
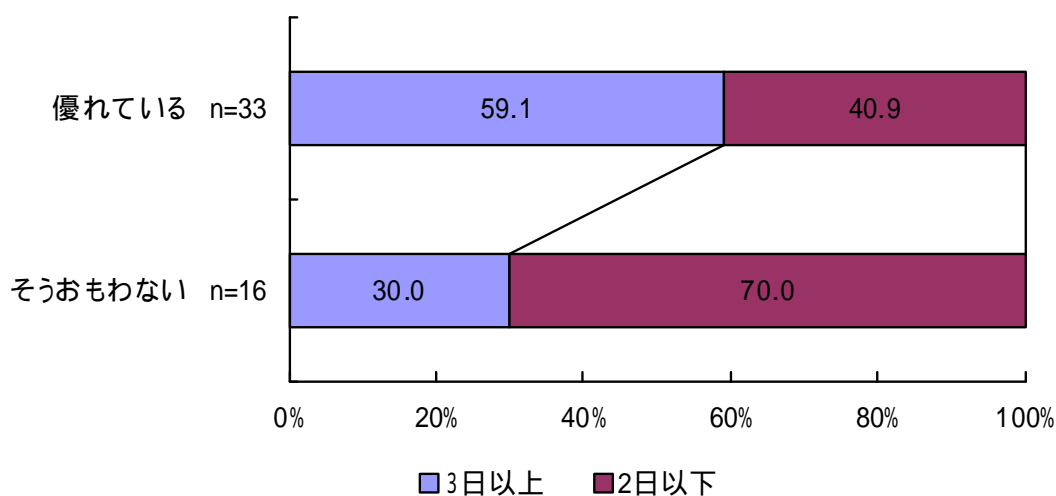


図2 - 8 - 4 参加日数と優秀性の比較(部活)



自分の団体を好きだと思ふ意識と参加度の比較を調査した。サークルでの結果を図2 - に部活での結果を図2 - に示す。

3日以上参加しているサークルは少ないが、優れていると思うグループの約30%が3日以上参加しているのに対し、2日以下は約5%と少ない。部活所属を同じように図2 - 7 - 4で分類し、比較しても同じ傾向だということが分かった。部活所属の優れていると思うグループは3日以上の参加が約60%で、2日以下が約30%である。

このことから、参加日数と好意意識には関係性があることが分かる。参加する割合が高いほど優れていると感じるということの背景には、参加によって得られる満足度や、友人が優れている、団体を好きだと思ふ要因ではないだろうか。

b. 重要度との比較

団体の活動において何が重要だとおもうかを「友人」「練習」「技術向上」「試合や文化祭での結果」「就職評価」の5項目で質問した。なお回答は「1. とても重要」から「重要でない」の4段階で回答を得ており、選択肢番号の各グループの平均値を求めて比較している。グラフは重要であるとおもう項目順に左から配列されている。

図2-8-5 サークル重要度と優秀性の比較

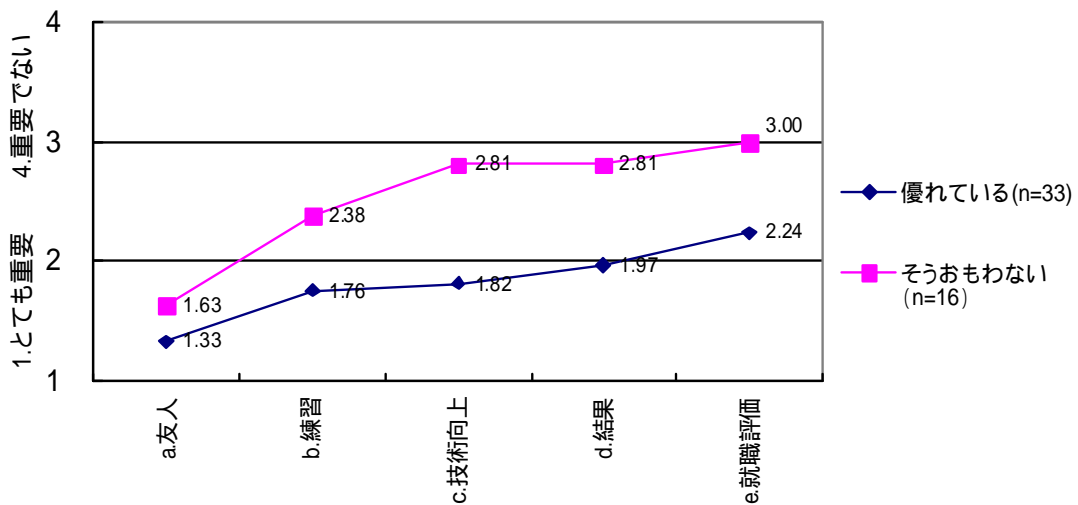
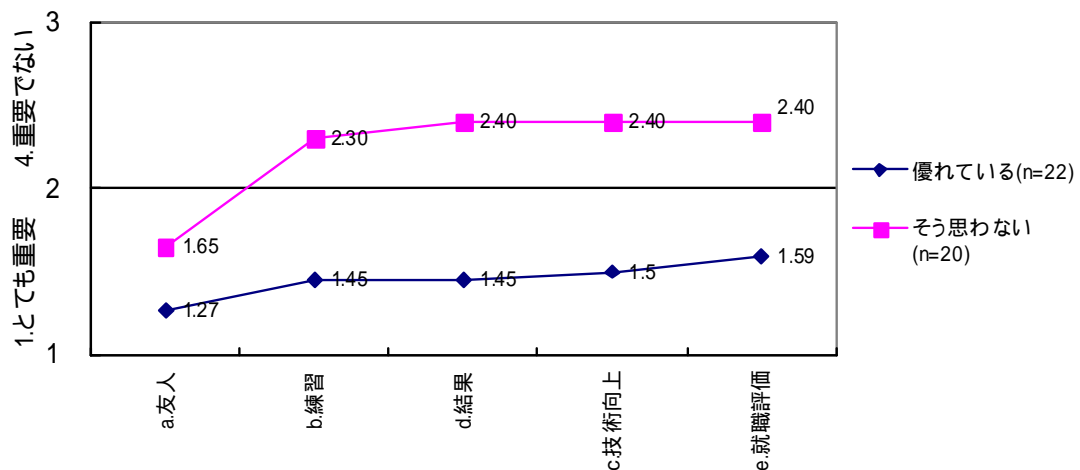


図2-8-6 部活重要度と優秀性の比較



サークルでは技術向上・結果・就職評価で大きな差が見え、部活ではさらに練習を含んだ4項目で大きな差が見える。友人関係で大きな差が出ないのは大学生が全体的に友人関係を重視する結果か。だが全体的にサークル・部活どちらも自分の団体が好きだと思うグループは、思わないグループよりすべての項目でその項目が重要であると答えている。

第3章 まとめと今後の課題

もっとも大きな仮説であった経済的な問題と団体の関連性が見えてよかった。だが、グループごとに調査するため、有意性を高めるためにもう少し多くの調査票を集めるべきだったように思う。

それ以外にも分かった主な項目を下に図示した。

友人関係により、団体所属の有無が異なる。就職活動をどの程度意識するかによって団体選択の違いになっていく。もちろん要因はこれだけではないが因子の一つではありそう。就職危機感が全体的に高い学生生活でも、就職のための行動を取っている学生は少なかった。だがそれでも数年後の就職状況を見越して団体を選ぶ傾向があり、昔からそうであるというよりも現在の就職率の低さによるものではないかと思う。

課題としては人間関係での差が見えなかったことから、友人をどの程度欲しいか、友人に求めることは何かなど、人間関係について詳しく調べたい。

仮説

- ・サークル所属者は裕福である
- ・就職危機感が高いと部活に所属する
- ・なりたい職業があると団体に所属
- ・サークルは人間関係を重視する
- ・部活は結果を重視する

検証後

- 仮説は検証された
- 全体的に危機感が高いが、行動・意識とも違いはない
- 所属はしているが、職業への準備はあまりしていない
- 部活とサークルは人間関係をかなり重視している
- 部活、サークルとも結果を重視する人は高参加
- 部活は就職重視度が満足されると参加度が上がる
- 自分の団体を優れていると思うと、参加度が上がる
- 優れていると思うと、団体に対して重要だと思う項目が増える

仮説以外の発見

参考文献

- | | | | |
|---------|---------------------|-------------|-------|
| 西島 央 | 「部活動 その現状とこれからのあり方」 | 学事出版 | 2006. |
| 溝上 慎一 | 「現代大学生論」 | 日本放送出版協会 | 2004 |
| 橋木 俊詔 | 「日本の経済格差」 | 岩波新書 | 1989 |
| 社会政策学会編 | 「格差社会への視座」 | 社会政策学会本部事務所 | 2007 |

【単純集計表】部活・サークルの所属に関する調査

2010.11

情報学部広報学科 ハツ橋ゼミ 宮本 京

問1 あなたはサークルに所属していますか。委員会・学友会などは含みません。(1つに) n=117

1. 所属している 42.7	2. 所属していない 問8へ 57.3
----------------	---------------------

問2 いくつのサークルに所属していますか。(1つに) n=50

1. 1団体 88.0	2. 2団体 8.0	3. 3団体以上 4.0
-------------	------------	--------------

問3 どのサークルに所属していますか。(あてはまるものに) n=50

1. 文化系サークル 52.0	2. 体育会系サークル 32.0	3. 飲みサークル 16.0
-----------------	------------------	----------------

問4 サークルへは平均して週何日程度参加していますか。

定期的活動だけでなく、様々なイベントへの参加も含みます。(1つに)

n=50

1. 5日以上 8.0	2. 3~4日 12.0
3. 2日 40.0	4. 1日以下 40.0

問5 サークル活動の重要性について、次の項目にお答えください。(それぞれに) n=50

	とても重要だ	やや重要だ	あまり重要でない	重要でない	無回答
a. 友人・出会い	66.0	30.0	0	4.0	0
b. 練習が楽しい	36.0	44.0	10.0	10.0	0
c. 技術向上が嬉しい	34.0	28.0	26.0	12.0	0
d. 結果が嬉しい	30.0	30.0	24.0	16.0	0
e. 就活で評価される	20.0	30.0	30.0	20.0	0

問6 自分の団体が他の団体より優れているとおもいますか。(1つに)

n=50

1. 思う 66.0	2. 思わない 32.0	無回答 2.0
------------	--------------	---------

問7 もう一度サークルを選べるなら、また同じ団体に所属すると思いますか。(1つに)

n=50

1. 思う 66.0	2. 思わない 34.0
------------	--------------

問8 あなたは部活動に所属していますか。委員会・学友会などを含みます。(1つに)

n=117

1. はい 35.9	2. いいえ(サークルは所属) 問18へ 32.5
	3. いいえ(両方所属しない) 問15へ 29.9

問9 いくつかの部活動に所属していますか。(1つに) n=42

1. 1団体 95.2	2. 2団体 2.4	3. 3団体以上 2.4
-------------	------------	--------------

問10 どの部活動に所属していますか。(あてはまるものに) n=42

1. 文化系部活動 78.6	2. 体育会系部活動 26.2
----------------	-----------------

問11 部活動へは平均して週何日程度参加していますか。昼食などの活動外での参加も含みます。

(1つに)

n=42

1. 5日以上 14.3	2. 3~4日 31.0
3. 2日 35.7	4. 1日以下 19.0

問12 部活動の重要性について、次の項目にお答えください。(それぞれに) n=42

	とても重要だ	やや重要だ	あまり重要でない	重要でない
a. 友人・出会い	57.1	40.5	2.4	0
b. 練習が楽しい	38.1	45.2	9.5	7.1
c. 技術向上が嬉しい	38.1	42.9	7.1	11.9
d. 結果が嬉しい	47.6	23.8	19.0	9.5
e. 就活で評価される	33.3	42.9	16.7	7.1

問13 自分の団体が他の団体より優れているとおもいますか。(1つに) n=42

1. 思う 52.4	2. 思わない 47.6
------------	--------------

問14 もう一度部活動を選べるなら、また同じ団体に所属するとおもいますか。(1つに) n=42

1. 思う 52.4	2. 思わない 47.6
------------	--------------

問18 へお進みください

サークル・部活動に所属していない方への質問です

問15 私生活での時間の使い方はどれが一番近いですか。(1つに)

n=37

1. 勉強中心 2.7	2. アルバイト中心 18.9	3. 趣味・娯楽中心 78.4
-------------	-----------------	-----------------

問16 団体に所属したいと思ったことがありますか。(1つに)

n=37

1. ある 40.5	2. ない 問18へ 59.5
------------	-----------------

問17 それはなぜですか。(1つに)

n=15

1. 友人が増やしたい 60.0	2. 経験が得たい 33.3
3. 達成感を得たい 6.7	4. 学食での居場所を得たい 0

ここからは全員への質問です

問 18 毎月のお小遣い(自分で使える金額)はどのくらいですか。(1つに) n=117

1. 6万円未満	74.4	2. 6~8万円未満	17.1	3. 8~10万円未満	4.3	4. 10万円以上	4.3
----------	------	------------	------	-------------	-----	-----------	-----

問 19 アルバイトをしていますか。(1つに) n=117

1. はい	62.4	2. いいえ	問 23 へ 37.6
-------	------	--------	-------------

問 20 アルバイトでの収入は平均してどのくらいですか。(1つに) n=73

1. 6万円未満	61.6	2. 6~8万円未満	23.3	3. 8~10万円未満	6.8	4. 10万円以上	8.2
----------	------	------------	------	-------------	-----	-----------	-----

問 21 アルバイトでの収入は主にどのようにつかいますか。(1つに) n=73

1. 学費・生活費(食費・光熱費・家賃など)	26.0	2. 娯楽費(趣味や飲み会など)	72.6	無回答	1.4
------------------------	------	------------------	------	-----	-----

問 22 アルバイトでは、下記の a~d の重要性をどのように感じていますか。(それぞれに) n=73

	とても重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答
a. 給料	76.7	21.9	0	1.4	0
b. 将来への経験	37.0	37.0	13.7	11.0	1.4
c. 就職への人脈	13.7	34.2	30.1	21.9	0
d. 人間関係	54.8	32.9	8.2	4.1	0

問 23 奨学金をうけていますか。(1つに) n=117

1. 3~5万円未満/月	16.4	2. 5~7万円未満/月	16.4
3. 7~10万円未満/月	6.9	4. 10万円以上/月	6.0
5. うけていない	54.3	無回答	0.9

問 24 就職について危機感を感じることはありますか。(1つに) n=117

1. とても感じる	62.4	2. やや感じる	29.1	3. あまり感じない	6.0	4. 感じない	2.6
-----------	------	----------	------	------------	-----	---------	-----

問 25 就職活動について、どのような行動をとっていますか。(あてはまるものに) n=117

	かなり実地	やや実地	あまり実地せず	実地せず	無回答
a. 就職と関係する アルバイト	12.0	15.4	31.6	41.0	0
b. 就職と関係する ボランティア	7.7	7.7	29.9	53.8	0.9
c. 業界・企業研究	18.8	33.3	27.4	20.5	0
d. 就職試験勉強	11.1	29.1	33.3	26.5	0

問 26 将来の夢やなりたい職業がありますか(1つに) n=117

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. ぜひなりたい職業がある 32.5 | 2. できればなりたい職業がある 46.2 |
| 3. 特にない 問 28 へ 18.8 | 無回答 2.6 |

問 27 その目標に向かって行動をしていますか。(1つに) n=92

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. している 18.5 | 2. ややしている 50.0 |
| 3. あまりしていない 29.3 | 4. していない 2.2 |

問 28 友人は多いほうがいいと思いますか。(1つに) n=117

- | | | |
|-----------------|--------------|---------|
| 1. とてもそう思う 26.5 | 2. やや思う 45.3 | |
| 3. あまり思わない 23.1 | 4. 思わない 5.1 | 無回答 1.7 |

問 29 学業にはどのくらい熱心だとおもいますか。(1つに) n=117

- | | | |
|------------------|---------------|---------|
| 1. とても熱心だ 10.3 | 2. やや熱心だ 47.9 | |
| 3. あまり熱心でない 34.2 | 4. 熱心でない 5.1 | 無回答 2.6 |

問 30 授業への出席率はどの程度ですか?(1つに) n=117

- | | | | | |
|--------------|----------------|---------------|-------------|---------|
| 1. 8割以上 67.5 | 2. 6~8割未満 24.8 | 3. 5~6割未満 5.1 | 4. 5割未満 0.9 | 無回答 1.7 |
|--------------|----------------|---------------|-------------|---------|

問 31 大学に入学した理由はどれがいちばん近いですか(1つに) n=117

- | | | |
|----------------------------|------------------------|---------|
| 1. 専門知識などが就職に役に立つと考えた 65.0 | 2. 友人などの出会いを求めて 4.3 | |
| 3. 自宅が近くにあったから 4.3 | 4. すべり止め(第一志望でない) 25.2 | 無回答 1.7 |

最後にあなた自身についてお聞きします

F1 あなたの性別 n=117

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1. 男 43.6 | 2. 女 54.7 | 無回答 1.7 |
|-----------|-----------|---------|

F2 あなたの学年 n=117

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|---------|
| 1. 1年 36.8 | 2. 2年 11.3 | 3. 3年 36.8 | 4. 4年 13.7 | 無回答 1.7 |
|------------|------------|------------|------------|---------|

F3 あなたの学科 n=117

- | | | | |
|------------------|---------------|-----------------|---------|
| 1. 広報学科 91.5 | 2. 経営情報学科 2.6 | 3. 情報システム学科 3.4 | |
| 4. 国際コミュニケーション学科 | 5. 国際関係学科 0.9 | 6. 健康栄養学科 | 無回答 1.7 |

F4 あなたの住まい n=117

- | | | |
|------------|---------------|---------|
| 1. 実家 49.6 | 2. 一人暮らし 48.7 | 無回答 1.7 |
|------------|---------------|---------|

F5 通学時間 n=117

- | | | |
|--------------------|------------------|--------------------|
| 1. 30分未満 34.2 | 2. 30~1時間未満 23.1 | 3. 1時間~1時間半未満 17.9 |
| 4. 1時間半~2時間未満 15.4 | 5. 2時間以上 7.7 | 無回答 1.7 |

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。